

平成29年12月 第118回

大野・勝山地区広域行政事務組合議会 定例会 会議録（第1日）  
議 事 日 程（第1号）

平成29年12月22日（金）  
午前10時00分 開 議

- 第1 会議録署名議員の指名  
第2 会期の決定  
第3 議案第4号 平成29年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計補正予算  
（第1号）  
議案第5号 平成29年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏  
振興事業特別会計補正予算（第1号）  
議案第6号 専決処分の承認を求めることについて（福井県市町総合事務組合  
規約の一部を変更する規約について）  
認定第1号 平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計及びふる  
さと市町村圏振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
第4 一般質問（質疑）  
（討論、採決）  
第5 議案第7号 監査委員の選任について

出 席 議 員（10名）

1番	竹内和順君	2番	下道恵子君
3番	松山信裕君	4番	乾章俊君
5番	北川晶子君	6番	堀田昭一君
7番	高田育昌君	8番	松田元栄君
9番	梅林厚子君	10番	宮澤秀樹君

説明のため出席した者

管 理 者	岡 田 高 大 君	副管理者	山 岸 正 裕 君
参 事	田 中 雄 一 郎 君	参 事	松 村 誠 一 君
愛護センター 所長	松 田 公 二 君	会計管理者	本 多 充 君
参 与	上 出 康 弘 君	参 与	畑 中 六 太 郎 君
事務局長	櫻 井 早 苗 君	事務局次長	前 川 幸 雄 君

書 記

書 記 長	岸 田 尚 悟	書記長補佐	川 端 秀 和
書 記	多 田 桂 子	書 記	松 川 正

議事

(午前10時00分 開会)

○ 議長（松山信裕君）

おはようございます。

これより平成29年12月第118回大野・勝山地区広域行政事務組合議会定例会を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元にお配りしたとおりであります。

直ちに本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は会議規則第73条の規定により、議長において

2番 下道恵子君、

9番 梅林厚子君

の両名を指名いたします。

日程第2「会期の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期につきましては、先刻議会運営委員会において協議の結果、本日1日とすることで意見の一致を見ておりますので、そのようにいたしたいと思っております。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○ 議長（松山信裕君）

ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日1日と決定いたしました。

日程第3

議案第4号 平成29年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計補正予算（第1号）

議案第5号 平成29年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町

村圏振興事務特別会計補正予算（第1号）

議案第6号 専決処分の承認を求めることについて（福井県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について）

認定第1号 平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計及びふるさと市町村圏振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について

以上4件を一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○ 管理者（岡田高大君）

第118回大野・勝山地区広域行政事務組合議会定例会の開会に当たり、最近の諸情勢や本組合の主要な事業の取り組み状況について申し述べますとともに、提案いたしました各議案の概要についてご説明申し上げます。

今年も残すところあと10日となりましたが、この1年を振り返ってみますと、本年も全国各地で多くの災害が発生いたしました。

とりわけ、台風や活発な梅雨前線による大雨が平成29年7月九州北部豪雨をはじめとし、各地に甚大な土砂災害、浸水被害をもたらしました。

お亡くなりになられた方々に対して心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々へのお見舞いと一日も早い復旧、復興をご祈念申し上げます。

奥越地域におきましても、10月22日遅くから翌日未明にかけて、県内に最接近しました台風21号により、河川の水位が上昇し、大野市で避難準備・高齢者等避難開始を発令し、勝山市で自主避難の呼び掛けをいたしました。

床下浸水や、強風による家屋損壊など、被災された方々に対し、お見舞いを申し上げます。

それでは、本組合の主要な事業の取り組み状況について申し上げます。

本圏域の重要課題であります、中部縦貫自動車道や国道・県道の幹線道路の整備促進につきまして、本年も国及び県に対する要望活動を行ってまいりました。

まず、中部縦貫自動車道の整備状況について申し上げます。

去る7月8日に永平寺大野道路延長26.4<sup>km</sup>が全線開通いたしました。

これにより、北陸自動車道と奥越が直結し、さらなる観光振興、地域振興が図られてきているものと考えております。

事業の進捗（しんちよく）状況につきましては、大野油坂道路の大野・大野東区間では、10月に沿線9地区の境界立ち合いに基づく、筆界確認押印会を実施したところであり、本年度中に境界確定の手続を完了させ、来年度は用地取得に着手すると伺っております。

また、大野東・和泉間では、荒島第一トンネル、下唯野側の掘削工事、蕨生、下唯野地区における改良工事、猿ヶ谷橋及び下山の九頭竜川橋の下部工事などが鋭意進められており、本年度内には荒島第二トンネルや、下山トンネルの工事に着手すると伺っております。

和泉・油坂区間では、川合・下半原間で用地取得が完了し、残る上半原・東市布間においても用地取得に向け、鋭意進めていると伺っております。

工事につきましては、石徹白川橋下部工事が着手され、新長野トンネル、天頭谷橋、此の木谷橋も工事着手に向け、準備を進めていると伺っております。

本組合といたしましても、一日も早い全線供用開始に向け、関係機関に対し、安定的な予算確保と着実な事業推進を継続的に要望してまいりたいと考えておりますので、今後とも議員各位のご支援とご協力をお願い申し上げます。

げます。

次に、ごみ処理の状況について申し上げます。

ごみ処理施設「ビュークリーンおくえつ」における、本年11月末のごみ処理量は、1万4,036<sup>ト</sup>で、そのうち1万2,351<sup>ト</sup>を焼却処理いたしました。

また、再資源化物として2,065<sup>ト</sup>を回収したほか、新たに東京オリンピック・パラリンピックのメダルを再生金属でつくる「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に協力し、燃やせないごみとして施設に持ち込まれた携帯電話の選別回収も行っており、既に400個余りを回収いたしております。

「ビュークリーンおくえつ」の排ガス、最終処分場「エコバレー」の水質等につきましては、いずれも自主基準値を下回る良好な状態を維持しております。

今後とも安定した運転管理を行うとともに、環境保全に万全を期してまいりたいと存じます。

次に、介護保険認定審査と障害者介護給付市町村審査について申し上げます。

本年11月末の審査状況は、介護認定審査会で2,320人、障害者介護給付市町村審査会で93人となっております。

公平、公正かつ適正な審査が行われるよう、今後とも両審査会の円滑な運営に努めてまいりたいと存じます。

次に、青少年健全育成について申し上げます。

奥越青少年愛護センターでは170人の補導委員を中心に、街頭補導と愛の一声運動を推進しており、本年11月末で275人に対して交通指導などの声掛けを行いました。

また、青少年指導委員によります面接や、電話での相談活動では、これまでに12件の相談を受けております。

さらに、社会福祉や環境美化活動などに尽くした青少年を顕彰いたします、善行青少年表彰を本年度も予定しており、現在各学校や関係機関などに推薦をお願いしているところであります。

今後とも、地域の皆さまや関係機関などと連携を取りながら、青少年の健全育成に努めてまいります。

次に、広域観光の推進について申し上げます。

本組合では、奥越前観光連盟を中心に、大野市、勝山市と連携し、奥越前の魅力発信と観光誘客の促進に努めております。

本年度は2年目となる「奥越前良縁散歩大野・勝山パワースポット巡り」を実施するとともに、9月に東京ビッグサイトで開催されました、世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン」に福井県などとブースを共同出展いたしました。

多くの来場者に奥越前の魅力を発信するとともに、同時開催されました旅行業者との個別商談会にも参加し、奥越前への誘客ツアー造成に手応えを感じたところであります。

一方、九頭竜テラル高原推進協議会では、新規事業といたしまして、不要となった、お子さまのスキーウェアやスキー板などのスキー用品を譲渡し、スキー経験のないお子さまのグレンデデビューを応援する「おさがりマッチング」のインターネットシステムを構築するとともに、アンケートに答えていただくとスキー場の1日リフト券が抽選で当たるプレゼントキャンペーンを実施しております。

今月の降雪によりまして、圏域内の各スキー場では、例年より早く滑走が可能となりましたことを喜んでいるところであり、今シーズンは大勢のスキー客でにぎわうことを心から願っております。

さらに、圏域を超えた活動としましては、

環白山広域観光推進協議会と連携して、「白山開山1300年」記念キャンペーン事業によるパンフレット作製や配付、出向宣伝などを行っております。

これら事業の推進と永平寺大野道路の全線開通効果から、今年の本圏域の入込客数は大きく増えております。

今後とも、関係団体と連携を強化し、さらなる誘客と奥越前を中心とした観光周遊を促進してまいりたいと存じます。

それでは、ただ今上程されました議案について申し上げます。

予算議案につきましては、一般会計とふるさと市町村圏振興事業特別会計の補正予算2件、専決処分の承認を求める議案1件、そして平成28年度一般会計及びふるさと市町村圏振興事業特別会計の歳入歳出決算の認定1件であります。

各議案の内容につきましては、事務局からご説明いたさせますので、慎重にご審議の上、妥当なる決議を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 事務局長（櫻井早苗君）

私から、補正予算2議案と専決処分を求める議案1件、決算認定1議案の内容についてご説明申し上げます。

まず

議案第4号 平成29年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計補正予算（第1号）

についてご説明いたします。

今回の補正では、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,699万1,000円を追加し、補正後の総額を12億6,891万1,000円とするものです。

歳入歳出の款、項の区分及び当該区分ごとの金額につきましては、3頁、4頁の第1表「歳入歳出補正」にお示ししているとおりで

最初に、歳出から説明いたしますので4㊦をお開きください。

款2 総務費3,009万1,000円の増額は、大野市・勝山市への返還金への増額と、職員給与費の減額です。

款4 衛生費310万円の減額は職員給与費の減額です。

次に、歳入を説明いたしますので3㊦にお戻りください。

款1 分担金及び負担金320万7,000円の減額は、大野市・勝山市からの負担金です。

款6 繰入金11万1,000円の増額は、ふるさと市町村圏振興事業特別会計からの繰入金です。

款7 繰越金3,008万7,000円の増額は平成28年の決算に伴う繰越金です。

次に

議案第5号 平成29年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算(第1号)

について説明いたします。

今回の補正では、歳入歳出予算の総額にそれぞれ11万1,000円を追加し、補正後の総額を638万5,000円とするものです。

歳入歳出の款、項の区分及び当該区分ごとの金額につきましては、3㊦、4㊦の第1表「歳入歳出補正予算」にお示ししてあるとおりです。

最初に、歳出から説明いたしますので、4㊦をお開きください。

款1 総務費11万1,000円の増額は一般会計の繰出金です。

次に、歳入を説明いたしますので、3㊦にお戻りください。

款3 繰越金11万1,000円の増額は平成28年度の決算に伴う繰越金です。

次に

議案第6号 専決処分の承認を求めるこ

とについて(福井県市町総合事務組合規約の変更について)

を説明いたします。

これは、平成29年6月1日から、福井県市町総合事務組合に若狭広域行政事務組合を加入させることに伴い、同組合を組織する団体の数の増加と、同組合規則の一部を変更する件について、地方自治法第292条において準用する同法第179条第1項の規定に基づき、平成29年5月16日に専決処分いたしましたもので、同条第3項の規定によりこれを議会に報告し、承認を求めるものです。

次に

認定第1号 平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計及びふるさと市町村圏振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について

説明いたします。

これは、地方自治法第292条において準用する同法第233条第3項の規定により、平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計及びふるさと市町村圏振興事業特別会計の歳入歳出決算について、監査委員の意見を付して議会の認定をお願いするものです。

決算書の内訳につきましては「平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合歳入歳出決算書総括表」にてご説明いたします。

それでは、3㊦をお開きください。

まず、一般会計ですが、歳入決算額は12億4,916万4,697円、歳出決算額は12億1,907万7,222円で、差し引き残額は3,008万7,475円となりました。

次に、ふるさと市町村圏振興事業特別会計では歳入決算額は538万9,171円、歳出決算額は527万7,506円で差し引き残額は11万1,665円となりました。

いずれの会計も形式収支、並びに実質収支は黒字となっております。

なお、平成28年度決算に係る主要な施策の成果に関する説明書を添付しておりますので、後ほどご覧いただきたいと存じます。

説明は以上でございます。

○ 議長（松山信裕君）

会議の途中でありますが、暫時休憩いたします。

（午前10時18分 休憩）

（午前10時55分 再開）

○ 議長（松山信裕君）

休憩の前に引き続き、会議を開きます。

これより質疑並びに日程第4一般質問を併せて行います。

梅林厚子君の質問を許します。

○ 9番（梅林厚子君）

皆さん、おはようございます。

梅林厚子でございます。

バドミントン・スーパーシリーズファイナルで初優勝されました山口茜さんには謹んでお祝いを申し上げます。

想像を絶するような努力をされていることに親心のような愛おしさを感じますが、今後開催されます国体やオリンピックでも頂点を目指し、ご活躍していただきたいと心より願っております。

それでは、通告に従いまして質問させていただきます。

ごみ問題は人類の永久のテーマであります。形あるものは全て壊れてしまい、ごみになります。

しかし人間は再資源化するという画期的なイノベーションを図るようになりました。

そこで1件目、ごみの再資源化について。

不燃ごみとして処分されている陶磁器製の食器をリサイクル食器の原料に資源化するこ

とにより、ごみの減量や、再資源化物売却料として財源の増額が見込まれます。

ごみの再分別意識を拡大し、新たな資源にすることにより、ごみの減量、平成32年度搬入量を1万6,644トにより一層近づくのではないのでしょうか。

陶磁器製の食器の資源化についてご見解をお伺いいたします。

2件目、ごみの直接処理場への搬入について。

現在、各地区ごとに可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ等の収集日が決まっておりますが、どうしても指定された日に搬出できなかった方や、粗大ごみなどを直接クリーンセンターに搬入することができるようになっております。

時期の節目には、個人搬入する方も多く、クリーンセンター敷地内には相当の車が渋滞する状況も見受けられます。

特別な場合はやむを得ないと思われませんが、収集日に搬出することが原則であります。

この持ち込みごみに対しては、一定重量を超える場合は料金を徴収しておりますが、それ以下の場合は無料です。

ごみの搬入状況、施設のコスト、モラル、職員の通常業務への影響などを鑑みると、無料であることが適正か否かと考えられます。

一定重量以下であっても、例えば1車両当たり100円なり、200円なりを持ち込み料、間接的な処理料として住民から協力を得ることも重要なのではないかと思います。

そこで1点目、ごみの持ち込みの、一つ、年間車両台数、二つ、うち一定重量以下、50キログラム未満で処理手数料が掛からない車の台数、三つ目、処理手数料、無料対象者の年間持ち込み総重量、四つ目、ごみの持ち込みの年間徴収料をお尋ねいたします。

2点目、重量に関係なく、持ち込み料とし

て協力を得ることに対するご見解をお尋ねいたします。

以上、建設的なご答弁をお願い申し上げます。

○ 事務局長（櫻井早苗君）

梅林議員のご質問にお答えいたします。

まず、1件目の「陶磁器製の食器の再資源化」についてであります。 「ビュークリーンおくえつ」では陶磁器類の処理については、大野市、勝山市から燃やせないごみとして収集されている金属類、ガラス類などほかの不燃ごみと合わせて破砕処理をした後、ガス化溶解施設において溶解処理し、一部はスラグとして再資源化し、再資源化に適さないものは不燃物残渣として埋め立て処分をしております。

なお、他県においては、陶磁器類の再資源化事例が報告されておりますが、陶磁器類を再資源化する場合にも運搬費を含む処分料が、売却代を上回る状況にあるとのこと。

本組合における再資源化は、大野市、勝山市による品目別の分別収集に合わせた処理体制となっております。

陶磁器類の再資源化については、新たな分別が必要であり、処理費の増加が見込まれることから、現状での再資源化は困難であると考えております。

次に、2件目の「ごみの直接持ち込み」についてお答えいたします。

まず、1点目の「ごみの直接持ち込みの状況」でございますが、平成28年度においては、6万7,008台の持ち込みがあり、そのうち家庭系の持ち込みは5万4,041台で、家庭系の持ち込み割合が約8割となっております。

家庭系持ち込みのうち、50kg未満は3万5,727台であり、家庭系の約3分の2を占めております。

これら直接持ち込み者の搬入重量は家庭系

2,567kg、事業系3,412kg、合計5,979kgであり、そのうち家庭系の無料分は700kgとなっております。

また、ごみ持ち込み手数料は3,476万2,440円であり、そのうち家庭系は746万6,840円、事業系は2,729万5,600円であり、家庭系の占める割合は約2割となっております。

次に、2点目の「持ち込み料」についてお答えいたします。

家庭系の持ち込みの中には、通常のごみ収集の対象とならないものもあり、市民サービスの低下を招かないよう、当面は無料区分を維持してまいりたいと考えております。

一方、分別の徹底などによるごみ減量化を図ることについては、引き続き大野市、勝山市と連携して啓発に努めてまいります。

○ 9番（梅林厚子君）

どうもありがとうございました。

それでは、ちょっと再質問させていただきます。

まず1点目の陶磁器製の再資源化ですけれども、まあいろいろお調べいただいたんだろうと思うんですけども、他市の状況を調べると、売却料を上回るというようなことで、非常にこのあれにコストが掛かると。

だから処理場の件にしても、非常に問題がありますが、なかなかその費用対効果の表れないというようなご意見もいただいたんですけども、これ唯一、リサイクル食器の原料を資源化するというような技術を持っている企業っていうのが全国で1件ございます。

それは岐阜県の土岐市の某会社、ある会社なんですね。

土岐市をはじめ、岐阜県の東濃西部の方っていうのは、非常に世界でも類を見ない窯業産地で、国の伝統産業に指定を受けるほどの陶磁器産業が中心に経済が成り立っているというようなことをお伺いしております。



この企業も昭和44年に設立いたしまして、資本金7,000万。

粉碎とか焼成などの業務も行っており、グループ会社も結構抱えていらっしゃるっていうことです。

今後やっぱり国ではインバウンドの拡充っていうようなことがやっぱり国策として挙げられておりますし、その中においては、まずは日本食ですね。

日本食と、日本食を輝かせる食器、このようなことを考えると、食器の未来は非常に期待が寄せられるのではないかと思います。

それと、土岐市は日本の人口の重心に非常に近くて、中央自動車道、それから東海環状自動車、国道19号線などの交通アクセスに非常に恵まれた所に位置しているとお聞きしております。

現在、中部縦貫自動車道の整備が進んでおりますが、この中部縦貫自動車道が開通すれば、流通面においてこれまで以上の期待が寄せられるものということを感じます。

当然先ほどの費用対効果とか、それから売却料うんぬんっていうことになると、勝山市、大野市だけで集めるっていうことは、こういった現象に絶対なるっていうことです。

となると、県内から集める、並びに北陸ですね、石川県、富山県、それから新潟県、こういった広域のところから再資源の中間貯蔵地というような形で事業誘致にもつながるのではないかと、このような思いがしております。

それで、ごみは増える一方ですね。

昨年度より非常にごみは本組合では減ってるんですけど、まあ累積するとごみはどんどんどんどんごみは増えるということなんです。

それと資源化の技術は今、開発途上です。

こういった長い目を見た場合に、広域的な観点も含めて、この陶磁器製の食器に対して、

やっぱり調査、検討するというようなことは非常に重要かと思うんですけども、もう一度お伺いいたします。

○ 事務局長（櫻井早苗君）

ただ今の梅林議員のご質問でございますけれども、長野県の須坂市という自治体がございます、そちらもこの10年近く陶器のリサイクル活動をされているということで、電話でお聞きいたしましたところ、年間約8トンの程度の回収量だと伺いました。

人口規模が大体5万1,000人程度ということですので、大野市、勝山市を合わせたのと同程度の自治体かなというふうに思いますけど、そのような自治体でも8トンは集まらないということでした。

今しがた、当然、大野・勝山地区だけでは足りないのもっと広いところから集めて集積場所にしてはどうかというご意見でございますけれども、当組合の事務といたしましては、大野市と勝山市のごみの処理ということになっておりますので、それ以外の広域的な処理ということにつきましては、対象外というふうに考えております。

以上です。

○ 9番（梅林厚子君）

どうもありがとうございます。

将来的なことを考えたときに、いろんな方向性を持つということは非常に重要かと思っております。

それでは、すみません、2点目についての再質問をさせていただきます。

これもなんですけど、先ほどから細かい数値を出していただきましてありがとうございます。

28年度の処理料無料の車台数ですね、これが3万5,727台と。

この方から1台につき100円ぐらいの協力費っていいですか、何ていいですか、こうい

ったご協力をいただくと、年間357万2,700円という雑入になっていきます。

また10<sup>キログラム</sup>単位で40円という処理料をいただくと、279万9,240円と、これまあ処理料の中に入るのかと思うんですけど、こういった収入源になるということです。

決められた日に、決められたごみをごみステーションに出していただくということが大前提です。

ところが、先ほどおっしゃられたように、持ち込みということは、非常に住民のことを考えていただきまして、サービスの向上につなげていただいているんだと思います。

でもいつでもクリーンセンターにごみを出せる状況、しかも50<sup>キログラム</sup>未満はお金が全く掛からないというようなことは、ごみを出すことの、何ていいますか、負担感っていうものがなくなったり、結果としてごみに対して非常に無関心になってしまうのではないかなというようなことも考えられます。

日常のごみの処理だけではなく、今後訪れる老朽化の問題であったり、最終処理終末所の問題であったり、ごみにはやっぱりお金が掛かるというようなことをやっぱりきちんと市民に知っていただくことも非常に重要かと思えます。

ただという、私、あまりただっていうのがいいのかどうか、非常に課題を持ってるんですけど、ただっていうことに対してはやっぱりエコノミーっていうこの観点をやっぱり知ってもらってということも非常に大事かと、このように思います。

住民サービスは非常に重要であります、処理手数料の見直しというようなことも含めて、一度検討する時期にきているのではないかと思います、ご見解をお尋ねいたします。

○ 管理者（岡田高大君）

一般搬入料の100円とか200円とかっていう

ご提案ですけれども、梅林議員のお考えは分かりますけど、勝山市、大野市、両市民にとりまして、負担の増ということになりますので、そういったことになると、梅林議員の一人考えていうのはなしで、広域事務組合の議員さんで、そういうのを1回調整して議論を重ねていただくと非常にありがたいかなと、そんなことを思います。

○ 議長（松山信裕君）

よろしいですね。

以上で、梅林厚子君の質問を終結いたします。

これにて質疑並びに一般質問を終結いたします。

これより議案第4号から議案第6号まで及び認定第1号の4件に対する討論に入ります。

（「討論なし」の声あり）

○ 議長（松山信裕君）

討論なしと認めます。

よって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第4号 平成29年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計補正予算（第1号）

議案第5号 平成29年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算（第1号）

議案第6号 専決処分の承認を求めることについて（福井県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について）

認定第1号 平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計及びふるさと市町村圏振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について

以上4件を一括して採決いたします。

お諮りいたします。

以上4件については、原案どおり可決、承認、認定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長(松山信裕君)

ご異議なしと認めます。

よって議案第4号から議案第6号まで及び認定第1号の4件は原案どおり可決、承認、認定されました。

日程第5

議案第7号 監査委員の選任についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○ 管理者(岡田高大君)

ただ今上程されました、議案第7号につきましてご説明申し上げます。

本案は大野・勝山地区広域行政事務組合監査委員の選任についてご同意を求めるものでございます。

大野・勝山地区広域行政事務組合議会議員から選任させていただきました北川晶子氏が12月5日に辞職され、欠員となっておりますので、後任といたしまして、新たに竹内和順氏を選任いたしたく、規約第9条第2項により、議会のご同意を賜りたいと存じますので、よろしくお願いを申し上げます。

○ 議長(松山信裕君)

お諮りいたします。

本案は人事に関する案件でありますので、質疑、討論は省略し、直ちに採決いたしたいと思っております。

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長(松山信裕君)

ご異議なしと認めます。

よってさように決しました。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案については、これに同意することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長(松山信裕君)

ご異議なしと認めます。

よって

議案第7号 監査委員の選任については、これに同意をすることに決しました。

ここで監査委員に選任されました、竹内和順君よりあいさつをお受けいたします。

(1番 竹内和順君 登壇)

○ 1番(竹内和順君)

ただ今、監査委員の選任につきまして、皆さまからのご同意を賜りました、勝山市議の竹内和順でございます。

就任に当たりまして一言ごあいさつを述べたいと思っております。

監査委員の職務に当たりまして、その役割の重要性、そして責任の重さを感じて居る次第でございます。

身の引き締まる思いでございます。

組合の運営に関しまして、一層適正に行われますよう、本田章代表監査委員とともに、尽力を尽くしてまいりたいというふうに考えております。

今後、皆さまのご指導、ご鞭撻(べんたつ)の方、よろしくお願いをいたします。

以上、簡単ではございますけれども、就任のあいさつとさせていただきます。

またよろしくお願いをいたします。

(拍手)

○ 議長(松山信裕君)

以上で、本定例会の附議事件は全て議了いたしました。

これをもって平成29年12月第118回大野・勝山地区広域行政事務組合議会定例会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでございました。

(午前11時16分 閉会)